

経済状況及び動向等資料

今後の事業資金融資あっせん制度の方向性について、下記の動向及び実績等から検討する。

記

- 1 月例経済報告及び地域経済動向等の概況
- 2 東京都内の中小企業の景況
- 3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

1 月例経済報告及び地域経済動向の概況

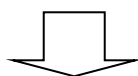
(1) 月例経済報告〔内閣府〕

① 景況判断（最近3か月間）

<令和2年4月>

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

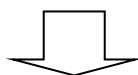
先行きについては、感染症の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。



<令和2年5月>

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。



<令和2年6月>

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

② 月ごとの主要指標の変更点

	4 月月例報告	5 月月例報告	6 月月例報告
個人消費	感染症の影響により、急速に減少している。	感染症の影響により、急速な減少が続いている。	緊急事態宣言の解除に伴い、このところ持ち直しの動きがみられる。
設備投資	おおむね横ばいとなっている。	このところ弱含んでいる。	—
住宅建設	弱含んでいる。	—	—
公共投資	底堅く推移している。	—	—
輸出	感染症の影響により、このところ減少している。	感染症の影響により、急速に減少している。	—
輸入	感染症の影響により、このところ減少している。	感染症の影響は残るものの、このところ下げ止まりつつある。	—
貿易・サービス収支	黒字となっている。	赤字となっている。	—
生産	感染症の影響により、減少している。	—	—
企業収益	感染症の影響により、急速に減少している。	—	—
業況判断	感染症の影響により、急速に悪化している。	—	厳しさは残るものの、改善の兆しがみられる。
倒産件数	このところ増加がみられる。	増加がみられる。	—
雇用情勢	感染症の影響により、足下では弱い動きがみられる。	感染症の影響により、弱さが増している。	感染症の影響により、弱い動きとなっている。
国内企業物価	このところ緩やかに下落している。	下落している。	—
消費者物価	このところ横ばいとなっている。	横ばいとなっている。	—

(2) 地域経済動向（令和2年5月）－南関東地域－〔経済産業省〕

	令和2年3月		令和2年5月
景況判断	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる	⇒	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある
個人消費	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱い動きがみられる	⇒	新型コロナウイルス感染症の影響により急速に減少している

2 東京都内の中小企業の景況（東京都産業労働局商工部調べ）

(1) 最近4ヶ月の景況

調査月	令和2年2月	令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月
業況	3か月連続で改善	新型コロナウイルス感染症の影響等により悪化	2か月連続で大幅に悪化	4か月ぶりに上向く
見通し	ほぼ横ばいで推移	感染の影響を懸念し非常に大幅な悪化	先行き懸念一段と強まる	回復期待高まる

3 都内、多摩地域及び西東京市内における中小企業の倒産件数

(1) 都内の状況（令和2年）

令和2年3月の倒産件数は、146件（前年同月比15.0%増）となった。
業種別件数では、サービス業28件、卸売業25件、情報通信23件の順となった。

令和2年4月の倒産件数は、108件（前年同月比11.5%減）となった。
業種別件数では、サービス業21件、卸売業19件、宿泊業及び飲食サービス業18件の順となった。

令和2年5月の倒産件数は、40件（前年同月比65.2%減）となった。
業種別件数は、卸売業10件、建設業7件、製造業、サービス業がともに6件の順となった。

(2) 多摩地域の状況

令和2年3月の倒産件数は、17件（前年同月19件）となった。業種別件数では、建設業5件、小売業3件、サービス業3件の順となった。

令和2年4月の倒産件数は、9件（前年同月14件）となった。業種別件数では、建設業、卸売業、宿泊業・飲食サービス業がともに2件となった。

令和2年5月の倒産件数は、3件（前年同月15件）となった。業種別件数では、建設業2件、製造業1件となった。

(3) 西東京市内の状況

令和2年3月の倒産件数は、1件で、業種は卸売業であった。

令和2年4月の倒産件数は、1件で、業種は建設業であった。

令和2年5月の倒産件数は、0件であった。

◎ 全体的な傾向の考察

項 目	指 標	傾 向
経済情勢	月例経済報告・地域経済動向・ 東京都中小企業の景況	月例経済報告・地域経済動向： 新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。 東京都中小企業の景況（5月）： 4か月ぶりに上向く。
倒産件数	都内の中小企業の倒産件数の 3か月合計（3、4、5月）	多摩地域：29件。 西東京市：2件。